基

学校教育

移住・定住

若者の活躍

女性の活躍

政策

# 子ども・若者・女性

若者・女性がいきいき輝き 子どもの声があふれるまちづくり





















### 現状•課題

本市の人口減少の特徴として、10代後半から20代前半の年齢層が少ないことがあげられます。

これは、高校・大学などを卒業した世代の転出超過により、若い世代が少ないことに加え、合計特殊出生率の低下、未婚率の上昇などの要因も重なったためで、最近の出生数は年間200人を割り込む状況となっています。

このようななかで若い世代が暮らし、安心して子どもを生み・育てるためには、出会い、結婚、出産、子育てに対する経済的な負担や精神的な不安の低減を図るとともに、生活のなかでの充実感を高める必要があります。

### 政策の方向性

子育て環境の整備や負担軽減を図るとともに、女性のワークライフバランス改善や相談 体制の整備・充実を図ります。

また、子どもが社会情勢の変化に対応できる「生きる力」を育む教育を推進するととも に、進学や就職で本市を離れた若者が、本市に誇りと愛着を持ち続け、いつかは戻って来 たいと思えるよう、小さいころから本市の良さや魅力を伝え、郷土を愛する教育を推進しま す。

さらに、グローバル化が進む社会のなかで、地域内はもちろん、国内、そして全世界に本 市の魅力が伝わるよう、全国・世界で活躍できる人材育成を推進し、子どもや若者、女性 に魅力的なまちづくりを進めます。

### 目標指標

数値目	目標	基準値	目標値	備考
合計特殊	出生率	1.55 (H25)	1.70(H30)	単年度
移住・定	住者数	-	10人(H32)	市の相談窓口を経由した移住 者数(H28~H32までの累計)

### 特色を活かした取り組み

### 子育て

子どもたちも親も健やかに育つまち 安心と喜びを感じる子育て

#### 現状と方向

本市では、生まれる子どもの数が年々減っており、このことが地域活動の低下にもつながっています。

子どもは本市の将来を支える宝であり、安心して子どもを産み、喜びを感じながら子育てを行うことができる環境をつくることが必要です。

このことから、地域全体で子育て支援体制の充実を図るとともに、子育てに対する経済的な負担感や精神的な 不安感の解消を図ります。

#### 主な取り組み

- ●子育て中の保護者の視点に立ち、子育て支援の充実を 図り負担感の軽減に努めます。
- ●子育て支援センターを中心に親子が気軽に集い交流できる場を提供するとともに、気軽に相談できる体制の 充実に努め、不安感や孤立感の解消を図ります。
- ●全ての子どもが適切な教育・保育施設を利用できるよう事業者との連携を図ります。
- ●児童虐待防止のため、相談体制の充実を図るととも に、関係機関と連携し予防的な取り組みの充実に努め ます。
- 発達障害や心身の発達に不安や悩みを持つ子どもと保護者が、孤立することがないよう相談体制の充実を図り適切な支援に繋げるよう努めます。
- ●保健師による家庭訪問により、産後うつ病の早期発見 及び育児不安の軽減を図ります。
- ●仕事と子育ての両立を支援するため、多様な保育サービスの提供と充実に努めます。



学校教育 未来を拓く子ども一人ひとりの夢を育む

### 現状と方向

子どもたちは、色々な体験や学習を通し多くのことを学び成長していきます。

一人ひとりが夢を持ち、志を立て、自らが未来を拓き自立して生きることができるよう育むことが大切です。

このことから、学校教育では、心身ともに健やかに成長できる環境を整え、基礎的な学力を着実に身につけるよ う取り組みます。

また、郷土の歴史や先人に学ぶとともに、国際社会の多様な文化にもふれることができるよう郷土教育や国際 理解教育の取り組みも進めます。

### 主な取り組み

### | 学力向上・豊かな心 |

- ●基礎的、基本的な知識や技能の習得、自ら学ぼうとす る意欲や課題意識を持って行動する力など、確かな学 力の育成に取り組みます。
- ●他人を思いやる心、良識ある判断力、正義感のある行 いなど、道徳性の育成に努めます。
- また、学校図書の充実を図り、学校図書館支援員を配 置して学校図書環境の整備に努めます。
- 郷土の歴史や先人に学び、愛着と誇りを持って、国際 社会の発展に貢献できる児童生徒を育成するため、学 校・家庭・地域が連携した教育を推進するとともに、国 際理解教育を推進し、次代を担う人材の育成を目指し ます。
- ●社会の一員として自立する力を養うため、キャリア 教育の充実に努めます。

### ´健康·安全 /

- ●交通安全教育を推進するとともに、地域と一体となっ た通学安全体制づくりや通学路の点検・改善に努めま
- ●安心・安全でおいしい学校給食を提供するため、食材 の安全性の確保を徹底するとともに、食育の視点から 地産地消を推進します。

### ፟∕教育環境 ╱

- 幼児が円滑に小学校に適応できるよう、就学前教育と 小学校との連携を深め、情報共有と相互理解に努めま
- ●特別支援教育支援員の適切な配置や指導の充実を図
- 就学援助や通学補助、スクールバスの運行、育英資金 貸与などにより、児童生徒が安心して学習できる教育 環境の確保に努めます。
- 学校施設の維持管理と計画的な改修を適切に行い、施 設の安全性確保と長寿命化を図ります。



### 移住・定住

暮らしやすさがちょうどいい 二戸での暮らし

### 現状と方向

日本全体で東京圏を中心とした大都市に人口が集中する一方、地方の魅力に惹かれ、移住する人たちも増えて おり、本市に移住した人からは、新幹線などの都会的な雰囲気と自然に包まれた牧歌的な雰囲気が共存し、暮らし やすいという意見も聞かれます。

このような人たちは、外からの視点でまちに新しい風を吹き込み、新しいまちづくりにつながる大きな可能性を秘 めています。

このことから、首都圏までの時間的な近さや田舎の良さなど、本市の特徴を生かし、二戸市に戻りたい、住んで みたいという、移住・定住希望者の受け入れ態勢の整備を進めます。

### 主な取り組み

- ●移住・定住情報の発信や相談会への出展など、本市の 特色や魅力を知ってもらう取り組みを進めます。
- ●移住・定住を希望する人に対する体験移住など、希望 に沿った移住支援に取り組みます。
- ●移住者の住居として空き家をあっせんするなど、民間事 業者と連携して空き家バンクの開設をはじめとした空 き家対策を進めます。
- ●移住者が実際に住んでみた感想や課題、魅力を把握 し、移住環境の改善と発信強化に向けた交流会の開催 などフォローアップの充実を図ります。



結婚支援

出会い、お付き合い、結婚の縁結び

### 現状と方向

女性の社会進出や雇用形態の変化などにより未婚率が上昇し、岩手県は全国でも未婚率の比率が高くなっています。

また、結婚年齢の上昇が少子化の要因であるとの指摘もあります。

このことから、民間団体による結婚支援イベントに対する支援を行うとともに、企業間の交流やスポーツ・文化を 通じた交流などにより若い人たちの出会いの場を創出し、結婚につながる活動支援を進めます。

#### 主な取り組み

- ●民間団体等が実施する婚活支援イベントなどの開催を 支援します。
- 岩手結婚支援サポートセンターを活用し、結婚につながる出会いの創出を図ります。
- ●企業間の交流や近隣市町村も含めたスポーツ・文化による交流を支援し、より多くの人と出会える機会の創出を図ります。

## 若者の活躍

住みたい、戻りたい、 担いたいと若者が思えるふるさとづくり

### 現状と方向

人口減少を抑制するためには、ここに仕事があり、若者が定住し、子育てや地域活動をしながら暮らせる必要があります。

本市においては、10代後半から20代前半の若者が進学や就職で本市を離れる傾向が顕著で、このことが人口減少にもつながっています。

このことから、高校卒業後にまちに残る人を増やすこと、また、一旦離れても戻って来る人を増やすため、若者が 「住みたい」と思うまちづくりに取り組みます。

また、若者が地域を考え、まちづくりを担い、活躍できる環境整備を進めるとともに、若者が気軽に集まり、交流 や情報交換できる拠点づくりを進めます。

#### 主な取り組み

- ●中高生や若年者に対して、地域の特色を生かしたキャリア教育の充実を図りながら、就職支援を行うとともに、職場定着を図ります。(再掲 P28)
- 小さい頃からふるさとについて学び、ふるさとを誇れるよう、郷土愛を育む取り組みを進めます。
- ●若者が集まる機会を創出するとともに、若者が主体的 に取り組むまちづくり活動を支援します。
- 若者や女性が情報発信や交流などをしやすい活動拠点 づくりを支援します。
- まちづくりワークショップの開催など、若者の意見を取り入れながらまちづくりを進めます。

### 女性の活躍

交流と活躍の場が広がる 女性が住みやすいまち

#### 現状と方向

社会の中で女性の担う役割が増しており、職場や地域、まちづくりなどでも女性が活躍する時代となっています。 しかし、依然として、子育てや介護などは女性が中心となって支えており、子育て支援をはじめとして、女性がより 活動しやすい環境づくりを進める必要があります。

このことから、女性の活動に対する理解や支援の充実を図り、女性が地域や企業で主体的、意欲的に輝きながら活躍できる取り組みを進めます。

### 主な取り組み

- ●女性や若者が情報発信や交流などをしやすい活動拠点づくりを支援します。(再掲 P38)
- ●地域に根ざして活躍する女性の起業支援に取り組みます。
- ●子育てや介護を行う女性が働きやすい就業形態の実現 に向けた取り組みを企業とともに進めます。
- ●仕事と子育ての両立を支援するため、多様な保育サービスの提供と充実に努めます。(再掲 P35)
- ●男女共同参画社会に対する市民や企業の理解・関心を高めるため、意識啓発活動や広報活動の充実を図るとともに、様々な分野とのネットワークづくりを進めませ
- ●市が開催する審議会などにおける女性の登用割合を高めます。

